

## Ⅱ 主要事業

### 1 平成 29 年度主要事業

3 か年重点目標の達成に向けて、3 か年の最終年次である平成 29 年度は、以下の事業について特に重点的に取り組み、基幹事業と一体的な取組を進めることで都立図書館を取り巻く課題を解決し、利用者ニーズに即したサービス向上を図る。

#### (1) 「都立図書館改善の方策」に基づく事業の実施

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた都の施策や都民、事業者の活動を支援するとともに、外国人を含む多くの人に都立図書館を一層活用してもらうための改善策を実施する。

- ア オリンピック・パラリンピック関連情報の多面的展開
- イ 次世代を育成する学校教育への支援
- ウ 都政における施策推進への支援
- エ 利用拡大に向けた戦略的広報
- オ 誰もが快適に利用できる図書館環境の構築

##### 【具体的な取組】

新たな情報サービスの展開、外国人利用者へのサービス充実、Web コンテンツの充実、学校支援サービスの拡充、政策立案支援サービスの拡充、ホームページリニューアル 等

#### (2) 第 27 期東京都立図書館協議会提言に基づく事業の検討及び実施

「第 27 期東京都立図書館協議会提言（平成 29 年 2 月）」の事業化に向けた検討を行い、可能なものから実施する。

#### (3) 都の施策及び第 26 期東京都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

「第三次東京都子供読書活動推進計画（平成 27 年 2 月）」の取組及び「第 26 期東京都立図書館協議会提言（平成 27 年 3 月）」に基づく事業を着実に実施する。

- ア 第三次東京都子供読書活動推進計画に基づく事業の実施
- イ 第 26 期東京都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

##### 【具体的な取組】

都立学校向け選書支援、外国語を母語とする子供の読書活動支援、生徒と図書館をつなぐ取組の拡充、学校向け資料提供に向けた検討の実施 等

#### (4) 多摩図書館におけるサービス充実

平成 29 年 1 月に国分寺市に移転開館した多摩図書館の運営を軌道に乗せる。東京マガジンバンク及び児童・青少年資料のサービスを二本の柱として一層の充実を図り、都立図書館総体として利用者サービスの向上を目指す。

##### 【具体的な取組】

東京マガジンバンクカレッジの実施、サービス対象別利用案内の作成・配布 等

##### 3 か年の重点目標（平成 27 年度～平成 29 年度）

- これからの都立図書館に期待される利用者ニーズを的確に捉えるとともに、都立図書館の運営及びサービスの現状（「東京都立図書館運営方針」）に改めて目を向け、より一層活用される図書館に向けた中長期的な館運営の方向を明らかにする。短期的に取り組むべき課題については迅速に対応する。
- 新多摩図書館の開館により、都立図書館（中央図書館・多摩図書館）総体として一層の機能向上を図る。
- 首都の中核的公立図書館として関連機関と連携し、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた多様な活動を支援する。

## 2 平成 28 年度 主要事業報告

### (1) 新多摩図書館開館に向けた準備

移転に伴う作業を計画的に行うとともに、開館後のサービス充実に向けた準備を行った。

#### ア 資料の移送及び配置

竣工後の 9 月下旬から旧多摩図書館及び外部倉庫に保管していた蔵書を順次移送し、新多摩図書館に配置した。

#### イ サービス充実に向けた準備

##### (7) 東京マガジンバンクサービスの拡充

雑誌に関する調査研究環境の向上を図るため、新たに作成したマガジンバンク雑誌分類に基づき、開架エリアに配置する雑誌の選定を行った。

また、図書館情報システムの更新を契機に、雑誌記事と所蔵資料のシームレスな検索を実現した。

さらに、移転オープン記念事業として「創刊号コレクション目録」を作成し、道府県立図書館や都内区市町村立図書館中心館等に配布したほか、開館後に実施する都民参加型の事業（「東京マガジンバンクカレッジ」）や企画展示の準備を行った。

##### (イ) 児童・青少年資料サービスの充実

子供読書活動推進の拠点としての役割を果たすため、エリア別に詳細な資料配置の検討を行った。

また、各エリアで子供と本を結びつけるためのミニ展示を企画するとともに、学校や区市町村立図書館支援の充実を図るための選書コーナーを設置した。

さらに、新多摩図書館のサービスを周知するための講演会準備を行うとともに、都内で行われた子供向けの行事に参加する等、事前周知を行った。

これらの準備を円滑に進め、平成 29 年 1 月 29 日（日）に国分寺市に移転、オープンした。それに先立ち 1 月 24 日（火）、移転開館記念式典を開催した。

### (2) 「都立図書館改善の方策」に基づく事業の実施

#### ア オリンピック・パラリンピック関連情報の多面的展開

##### (7) 新たな情報サービスの展開【情報サービス課】

中央図書館 1 階中央ホールのレイアウト変更を行い、「オリンピック・パラリンピック関連情報」、「江戸・東京の歴史や文化」、「海外から見た日本 (Books on Japan)」を紹介する展示コーナーを設けた。新たな展示コーナーを PR するため、ホームページ内に専用ページを設けるとともに、チラシや DVD を作成した。

また、4 階企画展示室において、シリーズ展示「～東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて～世界中の国のこともっと知ろう！」を 3 回開催し、資料リストを Web で公開した。

##### (イ) 外国人利用者へのサービスの充実【資料管理課・情報サービス課】

誰でも英語で簡単な利用案内ができるようにするため、「指さしマニュアル」を作成し、10 月から 1 階総合案内・相談カウンターで運用を開始した。

また、外国人を対象に、都立図書館の基本的な利用方法や資料配置方法を案内する「英語による図書館ツアー」を実施した。

「Books on Japan」コーナー充実のため、日本に関する外国語資料を積極的に収集した。

##### (ウ) 新たな利用者開拓のための関連イベント等の実施【情報サービス課・資料管理課】

ビジネスリーダー講演会「出口流 ビジネスに効く読書術」、伝統文化に関する講演会「華麗なる江戸城大奥の世界－仕事（オモテ）と生活（ウラ）－」、オリンピック・パラリンピックに関する講演会「障害者スポーツの魅力とは何か？～東京 2020 大会に向けて

～」及び都市・東京公開講座「東京凸凹地形散歩」を実施した。

また、大使館等連携事業の一環として、アメリカンセンターJapan の留学アドバイザーによる説明会「アメリカ留学、はじめの一步！ at 都立中央図書館」を開催した。

#### (エ) Web コンテンツの充実【情報サービス課・資料管理課】

平成 29 年度に向けて、東京オリンピック・パラリンピック関連の所蔵資料等を紹介する Web ページの作成を検討した。掲載予定のコンテンツを活用し、7 月から Facebook (SNS) で話題性のあるものを選択して紹介するとともに、12 月から中央図書館 1 階のオリンピック・パラリンピック関連情報コーナーで、関連資料の展示を開始した。

#### (オ) 電子書籍サービスの拡充【資料管理課】

日本の古典文学、社会、ビジネス関係等日本語コンテンツ 189 タイトル、各国事情関係等英語コンテンツ 94 タイトルを導入し、コンテンツの充実を図った (全 1,024 タイトル)。

中央図書館では、電子書籍閲覧用タブレット端末の展示、リーフレット作成・配布等の広報活動に取り組んだ。多摩図書館では、移転開館と同時にサービスを開始した。

#### (カ) レファレンスサービスの向上【情報サービス課】

6 月と 2 月に統一事例日を実施してレファレンスサービスの検証・分析を行い、レファレンスのスキルアップを図った。

また、5 月に都内区市町村立図書館を対象としたアンケートを実施し、この結果をもとに、協力レファレンスの PR を行うとともに、近隣の専門図書館等を訪問し、レファレンスの PR とニーズの把握を行った。

#### (キ) 資料閲覧の利便性向上【企画経営課・情報サービス課】

都立図書館間の取寄せ可能な冊数を増やし、来館利用者の利便性向上を図るため、来館、ネット予約 (来館前に利用したい資料を Web で予約する閲覧予約サービス) とともに、利用上限を 12 冊に拡大した。

### イ 次世代を育成する学校教育への支援

#### 学校支援サービスの拡充【企画経営課】

都立図書館の学校支援サービスの利用促進等を目指し、ガイドブック「都立中央図書館で学ぶ！ はじめてのレポート・論文作成ガイド」、リーフレット「都立図書館の学校支援サービス」を作成した。また、東京都教育委員会「オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業」の冊子や Web サイトで、都立図書館について情報提供を行った。

### ウ 都政における施策推進への支援

#### 政策立案支援サービスの拡充【情報サービス課・多摩図書館】

全庁掲示板へサービス案内を掲載するとともに各部署に紹介メールを配信し、都職員への広報を強化した。また、教育庁主任研修及び課長代理研修で利用ガイドを配布した。さらに、平成 29 年 4 月から資料の貸出方法を改善するための準備を行った。

### エ 利用拡大に向けた戦略的広報

#### (ア) 情報発信の強化・多言語化【企画経営課・多摩図書館】

都立図書館の役割や機能を分かりやすく紹介する「総合案内」を新たに作成するとともに、中央図書館及び多摩図書館両館の「利用案内」を刷新した (いずれも多言語対応)。

また、多言語に対応し、多様なニーズに応じて情報発信するデジタルサイネージを両館内に設置するとともに、都立図書館を広く PR するため、街頭大型ビジョンや都立の体育施設のデジタルサイネージを活用した。

#### (イ) 戦略的広報の実施【企画経営課】

第 27 期東京都立図書館協議会提言を踏まえ、「東京都立図書館広報基本方針」を新たに策定し、今後都立図書館の広報を進める上での基本的な考え方等について定めた。

また、「都立図書館広報業務連絡会」を設置し、都立図書館全体に関わる広報活動について、各課・館が連携して取り組む体制を構築した。

**(ウ) 資料紹介コンテンツの活用【企画経営課】**

都立図書館の豊富で幅広い蔵書を紹介する SNS コンテンツ「司書のおすすめ本」を活用し、ブックレットの作成、紹介資料の展示及びホームページへの掲載を実施した。東京国際ブックフェアなど、館外のイベントにおいても、PR ツールとして活用した。

**オ 誰もが快適に利用できる図書館環境の構築**

**(7) 通信・言語のバリアフリー化推進【情報サービス課・総務課・多摩図書館】**

初めて都立図書館を利用する人や、外国人の利用者にわかりやすい案内掲示にするため、ピクトグラムを統一感のあるデザインに変更し、看板やサインの多言語対応を行った。

また、中央図書館及び多摩図書館に無料 FREE Wi-Fi (FREE Wi-Fi & TOKYO) を設置し、無線 LAN 環境の充実を図った。

**(イ) 快適な閲覧環境整備【情報サービス課】**

1階中央ホールのレイアウト変更に合わせて、館内の閲覧席等の配置を見直すとともに、1階から4階まですべての閲覧席で、パソコン等の利用を可能とした。

**(ウ) 館内施設の整備及び貸出【総務課】**

「誰もが利用しやすい図書館」を目指してグループ閲覧室の防音化等、館内施設の整備を行うとともに、多目的ホール、研修室等に有線 LAN を設置した。

また、東京学芸大学の公開講座「古地図・名所図会・地誌書の世界」やアールブリュット展（生活文化局）、東京都高等学校アクティブ・ラーニング型授業研究会などへ施設の貸出しを行った。

**(3) 都の施策及び東京都立図書館協議会提言に基づく事業の実施**

**ア 第三次東京都子供読書活動推進計画に基づく事業の実施**

**(7) 都立学校向け選書支援（情報配信）【資料管理課・多摩図書館】**

青少年用図書の新着情報、書評に取り上げられた本の情報、都立多摩図書館がおすすめする本の情報を定期的に配信する選書支援を都立高校4校において試行した。試行の結果から、今後の情報提供の方法を検討した。

**(イ) 外国語を母語とする子供の読書活動推進（英語多読棚の設置）【多摩図書館】**

外国語を母語とする子供の読書活動を支援するとともに、子供の外国語や外国への理解を深めるため、英語の多読に適した図書を購入し、多摩図書館の青少年エリアに「英語多読棚」を設置した。コーナーには多読に関する説明も表示し、多読の一層の周知を図った。

**(ウ) 「しずかなひととき」（東京都子供読書活動推進資料）改訂【多摩図書館】**

平成17年に発行した「しずかなひととき」の改訂に向け、内容及び掲載図書の書誌事項確認、追加情報の検討を行った。

**(イ) 読み聞かせ講座開催準備、特別支援学校読み聞かせボランティア育成準備【多摩図書館】**

区市町村立図書館を対象に、児童青少年サービスに関する調査を実施し、ボランティア等に対する研修や、特別支援学校又は特別支援学級に対する出張おはなし会等実施状況について集約した。その結果に基づき、今後の事業実施について検討を行った。

**(オ) 生徒と図書館をつなぐ取組の拡充【企画経営課】**

高校生に本や図書館の魅力を伝える取組として、17校36名の生徒を中央図書館に招待し、館内見学や、幅允孝氏による講演「本を誰かに伝えることは嬉しい」等を開催した。

**イ 第26期東京都立図書館協議会提言に基づく事業の検討及び実施**

**(7) 新多摩図書館を活用した読書活動支援【多摩図書館】**

各エリアで年齢や目的に応じたミニ展示を実施するとともに、子供の読書活動の推進を図るため、都民を対象とした講演会（大人向け、子供向け）を行った。

**(イ) 学校向け資料提供に向けた検討【企画経営課・多摩図書館】**

「国際理解教育」「オリンピック・パラリンピック教育」等、学校での特色ある教育活動に役立つ資料をセットにして、学校からの要望に応じて貸出すサービスの検討を行った。